

IBC (アイス・バケツ・チャレンジ) グラント

**平成 27 年度 患者等支援活動助成**

**事業終了報告**

事業名

神奈川県支部による喀痰吸引等第三号研修と  
関連制度の検証

事業代表者名

岸川紀美恵

助成金額

300,000 円

①活動実施内容：中間報告・終了報告ともに必須

(助成事業の具体的な活動実施内容、事業の成果等について経過を追って記載してください。)

1. 1 主要行事

以下のように第3号研修を延べ4回、開催した。

第2回(\*1) 喀痰吸引等第3号研修の開催

・平成27年10月17日(土) ・湘南中央病院 会議室

第3回(\*1) 喀痰吸引等第3号研修の開催

・平成28年1月30日(土) ・ウィリング横浜 介護実習室

第4回(\*1) 喀痰吸引等第3号研修の開催

・平成28年5月14日(土) ・川崎市 てくのかわさき研修室

第5回(\*1) 第3号研修

・平成27年9月24日(土) ・小田原市 おだわら市民交流センターUMECO 会議室

(\*1:平成27年3月21・22日開催の初回から数えた延べの回数)

1. 2 打合せ等

1. 2. 1 月例の支部役員会で第3号研修について方針等を協議しました。

10月10日、11月7日、12月5日、1月9日、2月13日、3月5日、4月2日、  
5月7日、6月4日、7月1日、8月6日、9月3日

1. 2. 3 在宅難病療養者の医療的ケア・喀痰吸引等第3号研修について行政機関、医療機関  
と意見交換を行い、また、研修講師の依頼・会場選定などを行いました。

2015年

- ・11月2日 : 登録研修機関連絡会 横浜市関内
- ・11月6日 : 川崎市障害福祉課面談 川崎市役所  
入院時コミュニケーション支援制度の制定に際しALS患者の視点で  
意見を述べた
- ・11月24日 : 高橋先生訪問 戸塚 第3回3号研修の講師の依頼

2016年

- ・1月14日 : 神奈川県との打ち合わせ(県庁)
- ・2月5日 : 神奈川県小島福祉部長面談(県庁)
- ・2月16日 : 川崎市との打ち合わせ(川崎市)  
入院時コミュニケーション支援制度の制定に際しALS患者の視点で意見を  
述べた
- ・2月26日 : 神奈川新聞厚生福祉財団訪問(日本大通り) 県の福祉部の紹介で面談
- ・3月15日 : 登録研修機関連絡会(神奈川県社会福祉会館)
- ・3月15日 : NPO法人 楽 柴田理事長訪問(川崎) 第4回3号研修の講師の依頼
- ・3月28日 : 神奈川県との打ち合わせ(県庁)
- ・4月12日 : 首藤・佐久間局長意見交換(県庁)

- ・6月7日 : 神奈川県庁、議会傍聴の調整（県庁）  
5月補正予算で「喀痰吸引等研修実施体制強化事業費補助」が組まれているため応援で傍聴することにした
- ・6月9日 : 箱根病院 小森先生面談（小田原）
- ・5月23日 : 首藤・佐久間局長意見交換（県庁）
- ・6月14日 : 県議会常任委員会傍聴（県庁）  
「喀痰吸引等研修実施体制強化事業費補助」成立の応援。
- ・6月21日 : 黒岩知事他面会・県議会本会議傍聴（県庁）  
「喀痰吸引等研修実施体制強化事業費補助」成立の応援と知事へのお礼
- ・7月15日 : 川崎市との面談（川崎市）  
新任の課長への挨拶と情報交換
- ・7月19日 : 小田原保健福祉事務所・小田原市役所との打ち合わせ（小田原市）  
第5回(\*1) 第3号研修へのご協力依頼（後援名義使用申請の相談、会場の相談）
- ・7月22日 : 神奈川県小島福祉部長面談（県庁）  
新任の課長への挨拶と「喀痰吸引等研修実施体制強化事業費補助」制度の具体的内容の説明
- ・8月22日 : 登録研修機関連絡会（第三号研修）

### 1. 3 成果

#### 1. 3. 1 延べ4回の第3号研修の成果

(1) 医療的ケアのできる介護職等の養成に寄与できた。

平成27年10月～平成28年9月にかけて延べ4回の第3号研修を開催した。

受講者54名、実地研修修了者22名である。(平成28年9月30日時点)

(2) 念願であった相模川以西（小田原市）での研修も平成28年9月に開催できた。

受講生10名、研修に合わせて患者家族の相談（2件）を受けた

小田原市役所と小田原保健福祉事務所の後援（名義）を受けることができた。

(3) 延べ4回の3号研修により、医師・看護師および行政職とのつながりが広がった。

患者会が各地で会場を変えながら開催する第3号研修の運営及び研修機関運営のノウハウが蓄積できた。

#### 1. 3. 2 県との意見交換・交渉の成果

(1) 県の紹介で神奈川新聞厚生福祉財団の助成を受けた。申請すれば今後数年間は助成が見込める。

(2) 「喀痰吸引等研修実施体制強化事業費補助」の制度ができ、当支部も申請して平成28年度の補助金の交付を受けた。平成29年度も補助を受ける予定である。

**②終了までの予定：中間報告の場合は必須**

(助成事業終了までの活動予定等について経過を追って記載してください。)

**③事業の成果物と終了後の計画：終了報告の場合は必須**

(事業終了の成果を今後の活動にどのように活かすのか、できるだけ具体的に記載してください  
成果物について記載したうえで、報告書に添付してください)

今回の事業により支部が開催する第3号研修の礎を築くことができた。

今後は、医療的介護のできるヘルパーを一貫して養成できるように、重度訪問介護従業者養成  
研修の統合過程の事業指定を受けることを目指したい。

以下に成果物(最終)を添付します。

- (1) オブリージュ殿に提出した活動報告(延べ第2回・3回目の研修報告)
- (2) 平成28年度第1回喀痰吸引等第3号研修報告(延べ第4回目の研修報告)
- (3) 神奈川の5月補正予算で成立した「喀痰吸引等研修実施体制強化事業費補助」制度の関係資料  
および、平成28年度喀痰吸引等研修実施体制強化事業費補助金交付決定通知書
- (4) 平成28年度第2回喀痰吸引等第3号研修報告(延べ第4回目の研修報告)

報告者 氏名 岸川忠彦

住所

連絡先

領収書添付

次ページ以降に添付